

年 月 日

契約責任者
日本郵便株式会社
調達部担当執行役員 武部 繁樹 様

機能性能証明書

住 所

提出会社名

代表者氏名

印

当社の物品の機能性能について、以下のとおり証明いたします。

品名 : 紙幣入金整理機

メーカー名 :

型番等 :

仕様の規格等		当該製品の規格等	適否
基本要件	(1)外形寸法は、幅500mm×奥行800mm×高さ1,500mm以下(但し、突起物を除く)であること。		
	(2)重量は、300kg以下であること。		
	(3)電源は、単相100V 50Hz/60Hzとする。		
	(4)消費電力は、2.0KVA以下であること。		
	(5)2024年7月以降の流通紙幣の全金種を計数でき新紙幣が発行された場合についても対応が可能となるよう改造できること。また、混合金種を、計数を停止することなく一括で計数し、合計金額及び金種の内訳を確認できること。		
	(6)流通紙幣以外(外国札等)、紙幣の厚さ(2枚重ね)、長さ(2枚続き)、折れ(半券)、紙幣詰まりなどを自動的に検知できること。なお、計数に支障がある場合はエラーメッセージを表示して作動停止すること。		
	(7)指定金種について、100枚ごとに自動的に帯封することができること。 なお、帯封紙には、郵便局名及び帯封の処理をした年月日が自動的に印字できること。		
	(8)計数速度は、500枚/分以上であること。		
	(9)移動を容易にするため、機器本体にキャスターが付いていること。		
	(10)多金種混合紙幣を一処理工程で、金種ごとの枚数及び合計計数し、表示板に金種ごとの枚数又は金額並びに合計金額が表示できること。		
	(11)帯封速度は5束(1束100枚)/分以上であること。		
	(12)紙幣の真偽、金種、裏表及び正損を識別区分することができること、また粘着テープ等で補修した紙幣がある場合には、これを排除できること。		
	(13)ホッパー部および紙幣収納部等がある場合には、次の要件を満たすこと。 A ホッパー部には400枚(流通券基準)以上の紙幣をセットできること。 B 紙幣スタッカーがあり、スタッカーは150枚(流通券基準)以上の紙幣がストックできること。 C 読取不能券の収納部があり、30枚以上が収納できること。		
	(14)障害が発生した場合は、稼働が自動的に停止し、障害内容、障害箇所を表示板に表示すること。		
	(15)前記(14)の場合以外は、紙幣スタッカー及び読取不能券のスタッカー以外の場所に紙幣が残留しないこと。		
	(16)計数中の騒音が、おおむね80デシベル以下であること。		
	(17)電気用品安全法の基準に適合しており、適合している旨の表示を行うこと。		
(18)工程別要件 A 入金工程 ① 紙幣の真偽及び金種の識別区分をし、スタッカーにストックすること。 ② 金種ごとの枚数又は、金額並びに合計金額を表示板に表示すること。 B 整理工程 ① 紙幣の真偽及び金種の識別区分をすること。 ② 指定した金種について、表裏の区分をすること。 ③ 指定した金種について、100枚ごとに自動で帯封できること。なお、帯封紙に郵便局名及び処理年月日が自動的に押印印字できること。			

※既製品の場合、「カタログ」を添付の上、提出すること。

※「適否の別」欄には、○×で記載すること。